

生活交通維持確保路線の状況（令和元年度）

路線名	補助区分	令和元年度における 利用状況		令和元年度 収支比率	令和元年度公費負担額	
		1便あたり 最大利用者数	1便あたり 平均利用者数		市負担額	国県等負担額
鳥居原ふれあいの館～橋本駅線	国県補助	39人	18.8人	57.2%	2,580,300円	国 12,901,500円 県 10,321,200円
橋本駅～小沢線	国県市補助	29人	13人	37.8%	4,675,100円	国 4,185,700円 県 4,185,700円
三ヶ木～半原線	市町補助	13人	5.2人	23.5%	13,429,747円	愛川町 2,238,291円
三ヶ木～東野・月夜野線	市単独	10人	5.5人	15.8%	19,438,508円	
三ヶ木～三井・上中沢～橋本駅線	国市補助	57人	22.4人	43.2%	24,446,171円	国 15,288,500円
原宿五丁目～小沢線	市単独	7人	2.8人	8.5%	4,679,682円	

赤字は見直し検討基準に該当。見直し検討基準を下回った路線は、沿線地域住民と見直し検討を行う。

見直し検討基準：「ピーク時間帯の1便あたり利用者数が10人未満」または「運賃収入が運行経費の27.5%未満」

三ヶ木～東野・月夜野線は令和元年東日本台風の影響による国道413号通行止めに伴い一部区間を運休していた（令和2年3月27日から通常運行）。これに伴い、令和元年度における利用状況の算出ができなかったため平成30年度の利用状況を掲載している。

やまなみ温泉～奥相模湖～東野他3路線は、平成31年3月末で廃止（25,867,163円）

**令和元年度公費負担額合計 国：3,238万円 県：1,451万円 愛川町：224万円
相模原市負担額：6,925万円（対前年 2,343万円減）
公費負担額計：1億1,837万円（対前年 2,275万円減）**